

平成 29 年度射水市障がい者虐待防ネットワーク会議会議録

日 時 平成 29 年 10 月 2 日 (火)

10:00~10:55

場 所 射水市役所本庁舎 201 会議室

1 開会

委嘱状交付

岡部福祉保健部長 あいさつ

委員紹介

会長、副会長選出 会長：鷹西 恒 氏

副会長：久々江 除作 氏

2 議題

(1) 平成 28 年度射水市障がい者虐待防止センター事業報告

資料 1

① 射水市障がい者虐待防止センターへの通報件数等

② 研修会等実績

③ 成年後見事業について

④ 周知啓発について

《質疑応答》

委 員：地域活動支援センターからの毎月の実績報告について、虐待の件数を報告するよう指示はされているか。

事 務 局：地域活動支援センターからの相談報告の中の虐待件数を集計したものである。

委 員：各センターにおいて共通の認識で提出されるよう指示してほしい。

平成 29 年度射水市障がい者虐待防止センター事業計画

資料 2

① 通報及び相談への対応

② 研修会等計画

③ 成年後見事業計画

④ 周知啓発計画

⑤ 障がい者虐待への対応

《質疑応答》

委 員：研修が未定となっているのはどういうことか。

事 務 局：内容と日程が現在決まっていないもの。確定したらご案内するので参加していただきたい。

委 員：虐待に係る可能性のある人として福祉専門職、事業者、保護者の方も該当する。このような方を対象とした研修もあればよいと思う。継続事例についてはそれぞれの関わりをもう少し整理した方がわかりやすいと感じた。

委 員：複雑な対応を要求される場面がでてくるので、緊急一時保護の施設名は秘匿する方がよいと思う。また、虐待の件数が上がっていないのは虐待が行われ

ていないと考えるべきではない。今この時間も虐待が行われているかもしれないという意識を一人ひとりが持っていかないと発見、対応につがらないと思う。各職場での周知や施設、保護者等の研修も必要であると感じる。

3 その他

《意見交換》

委員：虐待の実態は隠れたところで行われていると思う。共生社会を考えてみんなが取り組みを行うことが大切である。また、小さい時から虐待はいけないということを教えることも大切であると思う。

委員：やまゆり園での殺人事件では、社会ではいろいろ言われているが、犯人である元職員が利用者（被害者）のいいところを見つけることができない体制だったのかもしれない。施設は職員が利用者のいいところを見つけられるような体制作りがこれからは必要であると思う。障がい者も感情はあり、一緒に楽しむことが大事でそこから命の大切さを経験すると思われる。人間は弱いので障がい者との付き合い方を知らないと親でさえ殴るなどしてしまうこともあり、障害者の特性を理解することが必要であると思う。

4 閉会